該当区分を選択する

記入例

様式第7の2（第5条の3関係）

~~製造所~~
危険物~~貯蔵所~~変更許可及び仮使用承認申請書
取扱所

申請日を記入する

○○年○○月○○日

舞鶴市長　殿

申　請　者
住　所　舞鶴市○○町○丁目○番○号（電話00-0000）
氏　名　○○工業株式会社　代表取締役　消防　太郎

設置者	住所	舞鶴市○○町○丁目○番○号 電話　0000-00-0000
	氏名	○○工業株式会社　代表取締役　消防　太郎
設置場所		舞鶴市○○町○丁目○番○号
設置場所の地域別	防火地域別	用途地域別
	準防火地域	第一種住居地域
設置の許可年月日及び許可番号	○○年○○月○○日　舞鶴市消指令第○○○○号	
製造所等の別	取扱所	貯蔵所又は取扱所の区分　給油取扱所
危険物の類、品名（指定数量）、最大数量	第4類　第1石油類　20,000ℓ 第4類　第2石油類　20,000ℓ 第4類　第3石油類　2,000ℓ	指定数量の倍数　121倍
位置、構造及び設備の基準に係る区分	令　第　17　条　第　1　項 （規則　第　条　第　項）	
変更の内容	固定給油設備の取替	
変更の理由	老朽化のため	
着工予定期日	許可後	完成予定期日　着工後●日
その他必要な事項		

※受付欄	※経過欄	※手数料欄
	許可年月日 許可番号	

仮使用の承認を申請する部分	別添図面のとおり	
※受付欄	※経過欄	※手数料欄
	承認年月日 承認番号	

備考１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　この申請書は、移送取扱所以外の製造所等について、変更許可申請と仮使用承認申請を同時に行う場合に用いるものであること。
３　法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
４　品名（指定数量）の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に（　）内に該当する指定数量を記載すること。
５　位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条文の記載がさらに必要な場合は（　）内に記載すること。
６　※印の欄は、記入しないこと。

※変更許可と仮使用の申請を同時に行うときにこの様式を使用する。

当該申請に係る製造所等の所有者、管理者又は占有者のうち、当該申請を行うことが適切と認められる者の住所及び氏名とすること。

製造所等の設置者の住所、氏名及び製造所等の設置場所の住所を記入する。

舞鶴市の都市計画図を確認し、記入する。
※　市ＨＰで確認可能

設置許可の年月日、設置許可番号を記入する

製造所・貯蔵所・取扱所の内、該当する区分を記入する。
例：貯蔵所・地下タンク貯蔵所

申請に係る製造所等が適用される法令の条文を記入する。**※備考５参照**

変更内容及び理由を簡潔に記入する。

工期または完成予定年月日を記入する。

申請部数：２部
添付書類：**構造設備明細書、付近見取図、平面図、安全対策、工事計画書**に加えて、変更内容にあった**仕様書**など
申請時期：早めに申請してください。
提出先：消防本部予防課
手数料：**変更手数料＋仮使用手数料**
変更手数料　→　舞鶴市火災予防条例別表９に定める金額
仮使用手数料　→　５，４００円